株式会社籠谷

2023年度(60期)環境経営レポート

（対象期間：２０２３年　７月１日～２０２４年　６月３０日）

作成日：　2024年9月23日

環 境 経 営 方 針

当社は創業以来、日々お客様のニーズにお応えすると共に、ご満足頂ける商品・技術提供することを考えながら事業活動を展開して参り、2021年で創業100年を迎えるに至りました。経営理念の１つに「持続可能な社会の実現」を掲げ、SDGｓへの取り組みを通じ、社会と共に永続していける会社として、世界における役割と地球環境の未来とも向き合って参ります。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

２．次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①太陽光など再生可能エネルギーの利用･省エネルギー等により二酸化炭素排出量 の削減に努めます。

②製造･加工工程の改善を行い、食品廃棄ロス等廃棄物の発生抑制に努めます。

③節水活動を行い、水使用量の削減に努めます。

④環境負荷の少ない洗浄剤等を積極的に採用し、洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。

⑤生産効率化を図り、安全な商品をタイムリーにお客様にお届けします。

⑥事業活動全般にわたり環境汚染の防止･資源の有効利用に努め、環境保全活動を推進します。

３．環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

４．全従業員への環境経営方針の理解と周知徹底を行い、環境保全の意識を高めます。

制定日 ： 2022年7月1日

代表取締役社長

小畑 成久

□組織の概要

（１） 名称及び代表者名

株式会社　籠谷

代表取締役社長　小畑　成久

（２） 所在地

本社工場：〒676-0005　兵庫県高砂市荒井町御旅2-1-17

浜風工場及び浜風第二工場：〒676-0008　兵庫県高砂市荒井町新浜2-9-21

（３） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　横山　博哉

ＥＡ２１事務局　岸本　斉

（４） 事業内容

鶏卵加工品の製造・販売(テーブルエッグ・液卵・玉子焼・ボイルエッグ・温泉玉子・マヨネーズ・ドレッシング)

電気設備工事及び管工事の設計・施工管理

（５） 事業の規模

売上高１，２６２，２００万円　　**(2024年6月現在)**

	本　社	浜風工場及び浜風第二工場	電気事業部	合計
従業員数	93名	276名	16名	385名
延べ床面積	3,100㎡	14,560㎡		17660㎡

従業員合計は、在籍人数としています。

（６） 事業年度　　７月～６月

□認証・登録の対象組織・活動

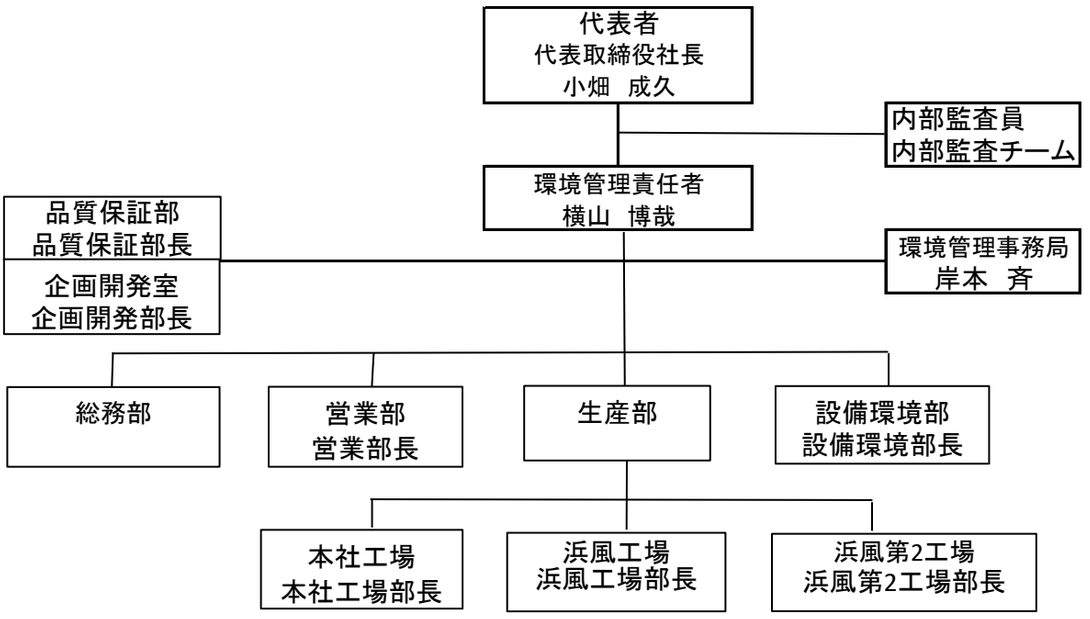
登録組織名：株式会社 籠谷　本社工場、浜風工場及び浜風第二工場

サイト：　本社工場、浜風工場及び浜風第二工場

対象外：　電気事業部　　※2026年を目途に電気事業部に拡大する

活　動：　鶏卵加工品の製造・販売

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	4,236,642	3,906,998	3,416,604
廃棄物排出量				
一般廃棄物量排出量	kg	282,701	259,653	270,170
産業廃棄物排出量	kg	2,429,286	2,492,981	2,191,588
食品廃棄物				
発生量	kg	1,643,439	1,734,716	1,505,854
発生抑制量	kg	0	0	0
再生利用量	kg	1,643,439	1,734,716	1,505,854
熱回収量	kg	0	0	0
減量量	kg	0	0	0
再生利用以外の量	kg	0	0	0
廃棄物処理量	kg	0	0	0
食品再資源化実施率	%	100%	100%	100%
総排水量	m^3	31,659	27,456	26,835
CO2排出係数（kg-CO2/kWh）		0.318	0.318	0.318
電力会社		関西電力	関西電力	関西電力
採用年度		2019年度	2019年度	2019年度

※　上記二酸化炭素総排出量は、ガソリン・軽油の排出量を含む

□環境目標及びその実績

項目＼年度		基準値(2022年)	2023年7月～2024年6月		評価	2024年	2025年
		（基準度）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	2,101,105	2,080,094	1,960,278	○	2,059,082	2,038,071
	基準年比	(2022年)	99.0%	93.3%		98.0%	97.0%
都市ガスの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,493,538	1,478,603	1,378,030	○	1,463,668	1,448,732
	基準年比	(2022年)	99.0%	92.3%		98.0%	97.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	3,594,643	3,558,697	3,338,308	○	3,522,750	3,486,804
一般廃棄物の削減	kg	259,653	257,056	270,170	×	254,460	251,863
	基準年比	(2022年)	99%	104.1%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	2,492,981	2,468,051	2,191,588	○	2,443,121	2,418,192
	基準年比	(2022年)	99%	87.9%		98%	97%
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標	100%	100%	100%	○		
	食リ法目標	(2009年)	100%	100.0%		100%	100%
水使用量の削減	m^3	27,456	27,181	26,835	○	26,907	26,632
	基準年比	(2022年)	99.0%	97.7%		98.0%	97.0%
環境に配慮した事業活動	行動目標（次項による）						
化学物質の適正管理	行動目標（次項による）						

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた　○ままできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評　価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
数値目標	○	基本的には前年度の対策の継続だが、今期の大きな取組みとして浜風工場の照明ＬＥＤ化とソーラパネルの設置ができ、今後さらに省エネが進むと考えます。
・空調温度の適正化（冷房２８℃　暖房２０℃）	○	
・不要照明の消灯、蛍光灯間引き	○	
・デマンド監視装置設置によるピーク電力の分散	○	
・冷蔵庫、冷凍庫設定温度見直し	○	
・冷蔵庫⇔常温庫　保冷カーテンの設置	○	
・照明のＬＥＤ化、ソーラーパネル設置	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	ガス使用量の最も多い玉子焼部門の生産量が前年比で落ちたことから、数値的には大きく下がる結果となりました。バーナーのメンテナンスは定着化しているので、引き続き対策を継続する。
・バーナーメンテナンス	○	
・スチームトラップの改良（省エネタイプへ）	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	×	一般廃棄物は前期比では増加した。 ペーパーレス化は進めているが、それ以上に生産品目により一般廃棄物の多い少ないが左右される。（使用副原料等）　来期に向けて分析を進める。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・帳票のシステム化（ペーパーレス）	順次	
産業廃棄物の削減		
数値目標	△	生産量に付随する卵殻が、生産量増加の為増えてしまっているが工場ゴミは昨年対比で削減できている。 引き続き製品化率向上（歩留り向上）し、廃棄物の削減に努める。
・生産歩留り向上	△	
・加工ロスの削減	△	
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上		
数値目標	○	食品廃棄物の再資源化100%が継続できている。 賞味期限延長に向けた取組みや加工ロス削減は継続的に実施している。
・原料の賞味期限切れロスの防止	○	
・加工ロスの削減	○	
水使用量の削減		
数値目標	○	前期の活動で大幅な削減に成功している。 今期も対策を継続しており、維持できている。
・手洗い水量の調整	○	
・トイレ給水量の調整	○	
製品の環境性能の向上及びサービスの改善		
・段ボール入数変更	○	１箱当りの入数変更（１箱の入数増加）・包材の厚み変更（厚みを薄く）・賞味期限延長は一部始まっている。 引き続き活動を進める。
・包材の余白削減	△	
・包材の厚み見直し	○	
・製品賞味期限延長	△	
化学物質の適正管理		
・ＳＤＳ義務のリスクアセスメントの実施	○	SDSの有無の再確認と薬剤管理・保護具着用の教育を実施した。また、化学物質管理責任者の選任と保護具着用管理責任者の選任を行った。来期は資格者を増加させ、教育については継続実施する。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・従業員教育（取扱い・保護具の着用など）	○	
・代替物質の検討	○	
・基準濃度以下の管理	○	
・化学物質管理責任者の選任	○	
・保護具着用管理責任者の選任	○	

□環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラ、汚泥、廃油等）の適正運用
食品リサイクル法	食品廃棄物のリサイクル
騒音規制法	コンプレッサーの届け出
水質汚濁法	製造設備、洗浄設備の届け出
下水道法	除害施設の届け出と排水基準の遵守
浄化槽法	浄化槽の管理
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の法定点検
瀬戸内海環境保全特別措置法	排水処理施設の排水基準の遵守
省エネ法	特定事業者・指定事業所としての削減活動

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等もありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の取り組みは2年目になり、前期に引き続いてほとんどの項目で数値目標を達成できた。特に前期の浜風第2工場に続いて今期は浜風工場にソーラーパネルを導入し、省エネ活動を加速させることができた点は評価できる。他の活動についても、前期からの活動が継続できており、定着化が進んでいる。

来期(2024年7月～)は生産量が増える見込みであり、大きな省エネ投資は完了したので、ソフト面での活動が中心になってくると考える。引き続き事務局中心に活動を展開する。

現在、方針や計画・体制等の見直しの必要性は無いと考える。

項目	見直しの必要性	見直し内容
環境経営方針	無	－
環境経営目標・環境経営計画	無	－
実施体制	無	－
その他の要素	無	－

2024年8月16日
代表取締役　社長
小畑　成久